

# (仮称) 茨城県立産業技術大学校基本構想の概要

## 1 大学校設置の趣旨

### (1) 背景及び課題

- ◆茨城県立産業技術短期大学校（I T短大）は、平成17年の開校以来、専門課程訓練を実施して、基本技術を確実に身に着けたI T人材を輩出し、県内企業のI T人材確保に寄与
- ◆近年の急速なデジタル化の進展により、高度I T人材の需要が増加し、県内企業でも、I T人材の質・量がますます不足
- ◆令和3年、茨城県議会が高度デジタル人材の育成に向けた教育の充実等を提言
- ◆I T短大で育成する人材の質の向上や量の拡大が必要

### (2) 対応方針

- ◆I T短大の大学校化（応用課程の設置）により、教育訓練を高度化し、より高度な知識・技能及びそれを活用できる能力を養成
- ◆専門課程の定員を増員し、短大卒業程度の人材も確保



### (3) 基本理念

- ◆県の産業振興に貢献できる人材の育成
- ◆県内企業の中核となる高度な技術を持った人材の育成
- ◆実践的なプロフェッショナルの育成

### (4) 教育訓練方針

- ◆高度で専門的かつ実践的な知識・技能を習得する
- ◆主体的にキャリアを考え、知識・技能をアップデートしていく能力を身に着ける

専門課程	企業の即戦力として活躍できる技術力と社会人基礎力を養う
応用課程	I T技術を横断的に活用して、コストや経営面を踏まえた課題解決を自ら提案し、遂行できる実践的能力を養う

## 2 大学校の概要

### (1) 名称

茨城県立産業技術大学校（仮称）

### (2) 設置場所

水戸市下大野町6342（現I T短大所在地）

### (3) 課程及び訓練科の構成

課程	訓練科（今後検討）	訓練コース
専門課程	情報システム科／情報処理科	（今後検討）
応用課程	生産システム技術系	（今後検討）

### (4) 定員

課程	入学定員	収容定員	総定員
専門課程	100名	200名	320名
応用課程	60名	120名	

### (5) 施設

- ◆I T短大の校舎を最大限活用しつつ、増築等により必要施設を確保
- ◆十分な実習・実験施設の確保

### (6) 訓練指導員

- ◆新規採用、外部講師の活用等により必要な訓練指導体制を確保
- ◆企業の実務経験者を積極的に活用

### (7) 開校目標

令和8年（2026年）4月

## 3 社会連携

### (1) 社会人向けの教育訓練の実施

- ◆専門短期課程、応用短期課程の設置

### (2) 県内就職に向けた取り組み

- ◆卒業生の県内就職に向けた仕組みの検討

### (3) 学校・企業等との連携

- ◆いばらきP-TECHの活用等による高校との連携、大学・企業等との共同研究

### (4) グローバル化への対応

- ◆英語力の向上、海外の大学や企業等との連携（留学生の受入れ、交流授業の実施等）